

【高等学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀県立伊万里商業高等学校・佐賀県立伊万里実業高等学校(定時制)
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の教育方針や目標についての保護者・生徒に対する浸透が十分でなかったため、活発な広報に努める必要がある。 ○いじめの予防に重点をおき、アンケートや個別面談の頻度を多くしたことで、発生時の早期発見及び迅速な対応にもつながった。また、教育相談や特別支援の視点に立った個別の支援にもより努めたことで、不登校や中途退学等を大きく減らすことができた。 ○卒業生は進学、就職とともに全員が進路を決定することができた。また、通信制高校との併修による3年での卒業もあり、生徒の多様なニーズに対応することができた。今後は、4年間(ないし3年間)を見通した系統的な進路指導をより充実させる必要がある。
2 学校教育目標	<p>【実業】心身ともに健康でたくましく、至誠と礼節を重んじ専門的知識・技術を生かし社会に貢献する人材を育成する。</p> <p>【商業】生徒一人ひとりの「生きる力・生き抜く力」を育み、経済社会の変化に十分に対応しうる、社会人・商業人としての資質(知識・技能)を身につけさせ、社会に貢献できる心身ともに健全な生徒の育成を目指す。</p>
3 本年度の重点目標	<p>《～見る夢は叶わず 追う夢は叶う～》をスローガンとして、心身ともに健全な人材の育成に努めることにより、社会貢献ができる人間性豊かな生徒の育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○集団生活の中で、相互に理解しあう心を醸成し、協調性を高める。 ○基礎学力の向上に努め、思考力・判断力・表現力を磨き、進路実現100%を目指す。 ○新しいものを創造するとともに、来たるべき社会の構築に積極的に参画できる生徒を育成する。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	取組内容	成果指標(数値目標)								
●学力の向上	○基礎学力の定着、及び商業の専門知識を高める。	○基礎学力テストで、50%以上正答した生徒が、全体の7割以上 ○各種検定資格試験の合格率90%以上	・学校行事を精選し、授業時数を確保する。 ・達成度を確保させ、個別指導に重点をおく。 ・専門教科ではチームティーチングによる個別指導をする。							
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○講話を受けて「ためになった」と回答する生徒が80%以上	・人権講演会、情報モラル講演会の実施 ・授業等、あらゆる教育場面での道徳心の育成							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめの問題に関する点検項目」に対し、95%以上の職員が全て「おおむねできている」「できている」の回答	・「いじめアンケート」を隔月実施、「生活アンケート」を前後期各1回実施 ・生徒に関する情報交換・協議会を毎月実施							
	◎ふるさと佐賀を誇りに思い、夢や目標に向かって努力しようとする気持ちを育む教育の充実	○在学中、少なくとも1回は生活体験発表に挑戦することを勧める。	・自分の思いを、言葉や文字にすることで夢を実現するための勇気や見通しが持たせられるような機会を多く設定する。							
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒85%以上 ○給食の喫食率85%以上	・喫食調査を毎日実施し、生徒の健康状態を併せて把握する。年間の喫食率が100%の生徒には「健食賞」を授与する。 ・食生活に関する定期的な面談を年2回以上実施 ・「給食だより」の毎月発行							
	○健康管理能力の向上	○保健室の利用率(一人当たりの年間平均利用回数)7.0未満 ○う歯治療の処置完了者率20%以上	・出席状況や健康観察から問題を抱える生徒の早期把握と面談、職員連携 ・給食後の歯磨き指導を徹底し、学校歯科医と連携を図り、歯科保健講話を実施							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・毎日の定時退勤推進 ・学校閉庁日の設定 ・職員の業務量チェック							

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
	重点取組内容	成果指標(数値目標)								
○進路指導	○進路指導の充実と希望進路の実現	○卒業予定者の進路決定率を100%にする。	・1年次からの就労体験を通し、社会性を身に付けさせ、進路意識を高める。 ・全日制進路指導部および、ハローワークと連携し、進路情報を収集して、生徒に提供する。							
○教員の資質向上	○授業改善による教員の資質向上	○生徒による授業評価2.8以上(4段階)	・年度中期に生徒による授業評価を行い、その後の改善に生かす。 ・授業において学習用PCによる理解度チェックを行う。 ・授業評価、アンケートの結果を基にした、職員による授業改善協議を実施する。							

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・
----------------	---